

地盤の泥炭の性質がより強く作用するものと考えられる。そして、パイプの変形は埋戻しの溝幅とも密接に関係しており、パイプの支持機構に与える溝幅の影響を把握する必要があるものと考えられる。

引用文献

- 1) 農林水産省構造改善局：土地改良事業計画設計基準水路工(その2)－パイプライン－, (1988).
- 2) 毛利栄征, 河端俊典：大口径可とう性パイプの土中挙動, 水と土, 69, 7-14. (1987).
- 3) 荘林幹太郎, 竹中肇, 毛利栄征, 海老名芳郎：埋設管の土中挙動について I, 第17回土質工学研究発表会要旨, 1205-1208, (1982).
- 4) 秀島好昭：とう性管周囲の埋戻し土の反力係数に関する土槽実験, 土木試験所月報N° 392, 20-28. (1986).

サ □ ソ

マ ド ソ ナ

Madonna：聖母マリア，マリアの絵像（彫像）。

マドンナって処女なんだヨナー。それがいつの間にかオバタリアンと同義になっちゃった。それにしても、最近の女性の進出には目覚ましいものがある。講演会でもパネルディスカッションでもやたら女の人がモテはやされ、女の社長やら、女の評論家やら、女の設計者が引っぱりだこだ。華々しくて、ニギニギしい。世間は注目するし、マスコミも大騒ぎで宣伝してくれる。一方男は日陰者。権力失墜の果てにセクハラ攻撃だ。おまけにアッシーだのミツグクンなどという不屈き者が増えてきて、男は優しくなるばかりだ。

かつては「土木」に女性が入ってきたっていうんで、みんな大騒ぎ。マァ、土木の世界にしろ何にしろ、女性がダメだというものは本来無いのかも知れない。イヤむしろ女性のほうが良いという場合もあろう。やすらぎ、そよぎ、まるやかさ、やさしさ、……など、今のアメニティの時代には女性こそ相応しいという分野があるかも知れない。

ダガ、女って近視眼的思考しか出来ない。目先のことしか見えないから、長期的なことが考えられない。と、ショーペンハウエルがいておる（私ではない！）。目先のことを言うからこれまたウケ易い。分かりやすい。おまけに短絡思考はセンサーショナルだ。その点、男はバカだ。遠視的思考では、答えが出るまで時間がかかる。理解されにくい。沈黙思考、朴訥実直などといってるまに先を越される。

イヤ、実は男は寛大なのだ。ホントは、暖かい目で眺めながら、まあ好みにやんなさいってとこなのだ。つまり、手のひらで孫悟空を遊ばせるお釈迦様の心境なのだ。と、思いたいところだが、遊ばせているつもりが遊ばされ、それに慣れてしまってデパートガールのようにイイ顔しかできなくなった優しい男どもの多いこと。一方で何にでも挑戦する勇ましい女どもの多いこと。それに「男らしく」「女らしく」と言っちゃセクハラだと騒がれる時代。世の中不可解。

世の男どもよ、もっとしっかりせにゃいかんぜよ。

ところで、「プリマドンナ」って、ドンナ「マドンナ」か知っている？

prima donna：歌劇の女主役，第1の+貴婦人。プリ・マドンナかと思ったらプリマ・ドンナだって。ひとつ利口になったろう。

(記 能登繁幸)